

校長室だより

岸和田市立浜小学校 平成28年度 第9号

明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく願いたします。



今年は、暖かく穏やかな三が日で始めました。みなさんにとっても穏やかな幕開けであったことをお祈りします。

毎年、元日になったからといって、特に目に見える何かが変わるわけではないのに、新たな気持ちになれるから不思議です。始業式で子どもたちに、「気持ちが新たに変わった今、今年はこれをやってみようとか、こんなこと頑張ろうとか、今年の抱負を考えてみましょう。」と話しました。1年の抱負があっても達成できないかもしれない。でも何が達成できなかったか考えることで、また次の目標が生まれてきます。抱負や目標なしには、成長はありません。そして、その目標は誰かに伝える方が、がんばれると言われていきます。

ご家庭でも子どもたちに今年の抱負を聴いてあげてください。

本を読む

始業式で子どもたちに、今年頑張りたいことは「読書」と話しました。本は、テレビや映画、マンガのような映像がないので、自分で場面を想像できます。ですから、世界が広がるのです。本の楽しさを知ることは、読むことが好きになることです。読むことが好きであること、学習の場でこれぐらい有利なことはありません。

昨年、テレビドラマの影響で歴史に興味を持ち、歴史小説を読み始めた子どもたちがいました。子どもの好奇心や興味とうまくつながれば、子どもは自分で読み始めます。

できるだけ早く、子どもたちに読書の楽しみを知ってもらうために、興味のあるような物を見つけ、勧めてみてください。



てんむてんのう
天武天皇

わが^{さと}里に 大雪^{おおゆき}降り^ふり 大原^{おおはら}の 古^{ふる}にし里^{さと}に 降^ふらま^{のち}くは後

(私の里に大雪が降ったよ。あなたが住んでいる大原の古びた里に降るのはもっと後だろう)

いおえのいらつめ
五百重娘

わが^{おか}岡の おか^いみに言^いいて 降^ふらしめ^し 雪^{ゆき}のく^{ちり}だけ^し そこ^{ちり}に散^{ちり}りけ^むむ

(そうかしら。その雪は、私の岡の龍神に頼んで降らせた雪のかけらがそっちで降ったので
はありませんか。)

これは、飛鳥時代の短歌と返歌（最初の歌に返事をする短歌）です。
今、流行っているラップと似ていませんか。短歌には字数が、ラップには韻を踏むという決まり事があります。それを守りながら、使える言葉を探して相手に返す、一種の言葉遊びです。たくさんの言葉と機智（その場でとっさに働く知恵）がないとできません。
言葉は万能ではありませんが、力を持っています。言葉を知ること、そして大切にすることを覚えて欲しいです。

そこで2学期の終業式の日、4年生～6年生の子どもたちに

「百人一首の名人・達人をめざそう！」

という「校長先生からの挑戦状」を渡しました。一首ずつでもいいので、たくさんの人に挑戦してほしいです。

校長室で名人戦ができるとうれしいなと思っています。

1年生～3年生の人でも
お家でやっている人は、
挑戦しに来てください。

